

特定都市河川浸水被害対策法の規定に基づく
**雨水浸透阻害行為許可の
事前相談について**
【熊本県】

- ① 特定都市河川流域で、
② 事業区域が 1,000 m²以上の場合、
雨水浸透阻害行為の許可が必要になる場合があります。
熊本県 土木部 河川港湾局 河川課へご相談下さい。

事前相談は、「雨水浸透阻害行為許可事前相談依頼書」に
必要事項を記入し、必要な図書をご持参下さい。

なお、ご来庁の際は、担当者不在の場合も
ありますので、必ず事前にご連絡をお願いします。

竜野川流域が「特定都市河川浸水被害対策法」の
『特定都市河川流域』に指定されました。

(概要については、国土交通省作成のパンフレットをご覧ください。)

この指定に伴い、流域内で 1,000 m²以上の『雨水浸透阻害行為』
を行う場合には、知事の許可が必要となります。

詳しいことやお問い合わせ、事前相談は、

熊本県 土木部 河川港湾局 河川課
TEL096-333-2507

1. 事前協議時の必要書類の指導・雨水浸透阻害行為の事前相談依頼書提出

【必要書類一覧】

- ① 行為区域位置図（1/50000以上の地形図）：図面-1
- ② 行為区域図（現況地形図（1/2500以上））：図面-2
- ③ 現況地形図（1/2500以上）：図面-3、図面-4
- ④ 土地利用計画図（1/2500以上）：図面-5、図面-6
- ⑤ 申請様式-2
- ⑥ 課税地目・土地登記簿謄本（公図の写し）、その他土地利用区分を証明する書類



【作成にあたって用意する基礎資料】

- ① 現況地形図・測量図（1/2、500以上）
- ② 土地登記簿謄本（公図の写し）、課税証明等
- ③ 現地写真（写真位置・撮影年月日記入）



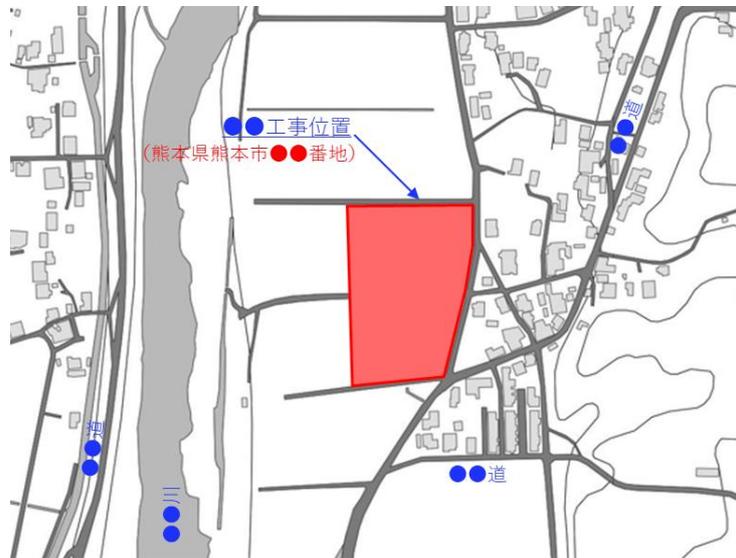
【作成方法】

- 作業 1. 行為区域位置図の作成
- 作業 2. 行為区域図の作成
- 作業 3. 現況地形図（現況土地利用区分明示）の作成
- 作業 4. 現況土地利用区分ごとの面積集計（申請様式-2）
- 作業 5. 土地利用計画図（計画土地利用区分明示）の作成
- 作業 6. 計画土地利用区分ごとの面積集計（申請様式-2）
- 作業 7. 雨水浸透阻害行為面積算定（申請様式-2）

図エラー! 指定したスタイルは使われていません。-1 必要書類と作成方法の指導手順

作業1 行為区域位置図の作成（例示）

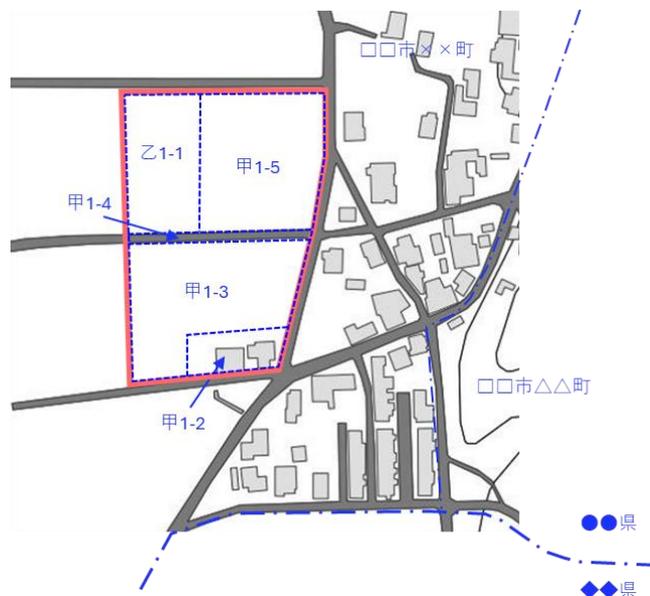
地形図縮尺 1/50、000 以上として行為区域の位置を表示する。「位置」は地番を表示する。



作業2 行為区域図の作成（例示）

縮尺 1/2、500 以上として、以下を表示する。

行為区域（事業エリア全体）・県界・市境並びに土地の地番及び形状

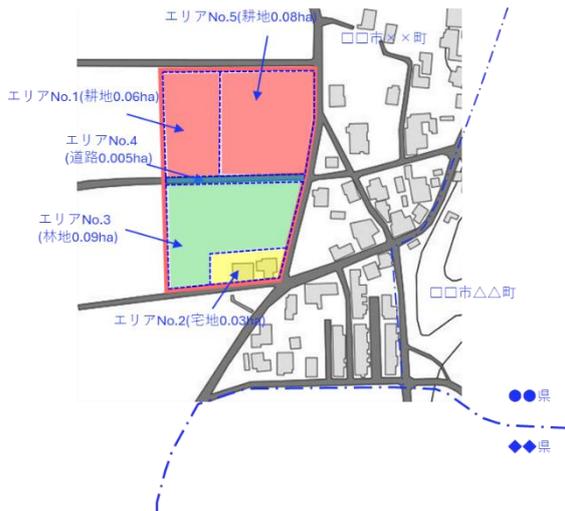


作業3 現況土地利用図（現況土地利用区分明示）の作成（例示）

縮尺 1/2,500 以上とし、地形（等高線は 2m の標高差を示すもの）、行為区域の境界並びに土地利用区分毎（流出係数の区分毎の土地利用形態及び当該土地利用形態）の面積を明示（※）

（※）着色等の工夫が望まれる

- 土地利用区分及び土地利用の判別は、課税地目（土地登記簿謄本）、現況の土地利用形態等から行う
- 区分・エリアごとに一連の任意 NO を付与する



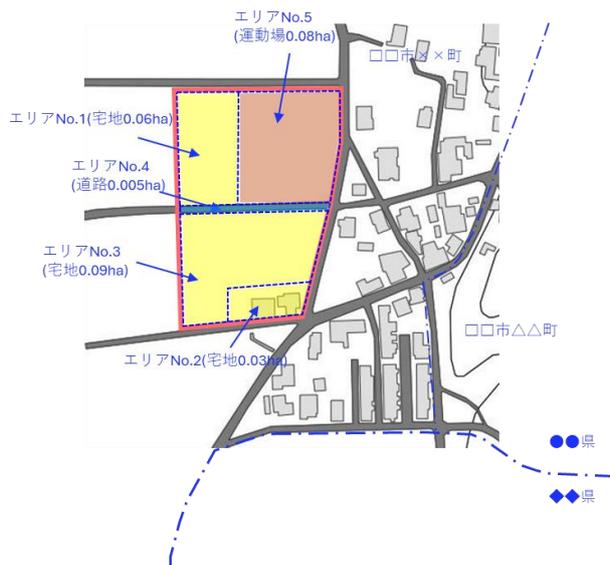
NO	宅地等※		林地・耕地 原野他	計
	宅地	道路		
1	—	—	0.0600	0.0600
2	0.0300	—	—	0.0300
3	—	—	0.0900	0.0900
4	—	0.0050	—	0.0050
5	—	—	0.0800	0.0800
計	0.0300	0.0050	0.2300	0.2650

※「宅地等」とは宅地、池沼、水路、ため池、道路等雨水が浸透しにくい土地として政令で定めるものをいう

作業4 土地利用計画図（計画土地利用区分明示）の作成

雨水浸透阻害行為区域の境界並びに土地利用区分（流出係数の区分ごとの土地利用形態及び当該土地利用形態）ごとの面積を明示（※1）。

（※1）着色等の工夫が望まれる



- 計画土地利用の区分は作業 3 と同様 18 区分に基づき判別する（区分は申請様式-2 参照）
- 区分ごと・エリアごとに一連の任意 NO を付与する。

NO	宅地等※		運動場	計
	宅地	道路		
1	0.0600	—	—	0.0600
2	0.0300	—	—	0.0300
3	0.0900	—	—	0.0900
4	—	0.0050	—	0.0050
5	—	—	0.0800	0.0800
計	0.1800	0.0050	0.0800	0.2650

※「宅地等」とは宅地、池沼、水路、ため池、道路など雨水が浸透しにくい土地として政令で定めるものをいいます

作業 5 現況土地利用区分ごとの面積集計（申請様式-2）

作業 3、4 で判別した現況・計画土地利用区分を基に区分ごと・エリアごとの面積を申請様式-2 に記入し、集計する。

留意事項

現況及び計画の事業エリア内の土地利用面積は必ず一致すること。

作業 6 雨水浸透阻害行為面積の算定（申請様式-2）

- 現況で宅地等に含まれる面積を除外した雨水浸透阻害行為に該当する面積を算定（申請様式 2 で自動算定、次ページにて例示）。
 - 1,000m² を超える場合は法第 30 条許可申請の対象となる。
- ※審査側は、審査対象外であっても雨水貯留浸透対策の努力を求める

【例示解説】

次ページのケースでは事業エリア 0.23ha (2300m²) が雨水浸透阻害行為面積となり、1,000m² を超えることから法第 30 条の雨水浸透阻害行為の許可申請が必要となる。

記入例

行為前後の土地利用区分面積表

事業区域位置：〇〇市〇〇町〇〇101番地 102番地 103番地

申請様式-2

行為前			行為後																								
土地利用形態区分	流出係数	面積 (ha)	面積 (ha)																								
			計	宅地等に該当する土地										宅地等以外の土地							その他						
				① 宅地	② 池沼	③ 水路	④ ため池	⑤ 道路 (法面を有しないもの)	⑤ 道路 (法面を有するもの)	⑥ 鉄道線路 (法面を有しないもの)	⑥ 鉄道線路 (法面を有するもの)	⑦ 飛行場 (法面を有しないもの)	⑦ 飛行場 (法面を有するもの)	⑧ コンクリート等 (法面除)	⑨ コンクリート等 (法面)	⑩ ゴルフ場	⑪ 運動場類	⑫ 締め固められた土地	⑬ 山地	⑭ 人工植生法面	⑮ 林地・原野類	⑯ 耕地	⑰ 締め固められていない土地				
			0.90	1.00	1.00	1.00	0.90		0.90		0.90		0.95	1.00	0.50	0.80	0.50	0.30	0.40	0.20	0.20	0.20					
宅地等に該当する土地	告示別表1	① 宅地	0.90	0.0300	0.0300	0.0300																					
		② 池沼	1.00		0.0000	0.0000																					
		③ 水路	1.00		0.0000	0.0000																					
		④ ため池	1.00		0.0000	0.0000																					
		⑤ 道路 (法面を有しないもの)	0.90	0.0050	0.0050	0.0050																					
		⑤ 道路 (法面を有するもの)			0.0000	0.0000																					
		⑥ 鉄道線路 (法面を有しないもの)	0.90		0.0000	0.0000																					
		⑥ 鉄道線路 (法面を有するもの)			0.0000	0.0000																					
		⑦ 飛行場 (法面を有しないもの)	0.90		0.0000	0.0000																					
⑦ 飛行場 (法面を有するもの)			0.0000	0.0000																							
小計			0.0350	0.0350	0.0350	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000		
宅地等以外の土地	別表2 告示	⑧ コンクリート等の不透水性の材料により覆われた土地 (法面を除く)	0.95		0.0000																						
		⑨ コンクリート等の不透水性の材料により覆われた法面	1.00		0.0000																						
	告示別表3	⑩ ゴルフ場 (雨水を排除するための排水施設を伴うものに限る)	0.50		0.0000																						
		⑪ 運動場その他これに類する施設 (雨水を排除するための排水施設を伴うものに限る)	0.80		0.0000																						
		⑫ ローラーその他これに類する建設機械を用いて締め固められた土地	0.50		0.0000																						
	告示別表4	⑬ 山地	0.30		0.0000																						
		⑭ 人工的に造成され植生に覆われた法面	0.40		0.0000																						
		⑮ 林地、原野	0.20	0.0900	0.0900	0.0900																					
		⑯ 耕地	0.20	0.1400	0.1400	0.0600																					
⑰ ローラーその他これに類する建設機械を用いて締め固められていない土地		0.20		0.0000																							
小計			0.2300	0.2300	0.1500	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0800	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000		
その他			0.0000	0.0000																							
合計			0.2650	0.2650	0.1850	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0800	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000		
平均流出係数			0.292																								
雨水浸透阻害行為の該当面積 (ha)			0.1500	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0800	0.0000									
⇒ 計			0.2300ha																								

事業区域に含まれるすべての地番を記入してください。

現況 (行為前) 土地利用形態ごとの面積 (ha) を入力してください。
なお、面積は小数点以下4桁までの表示とします。

自動計算

現況 (行為前) 土地利用形態ごとに整理された計画 (行為後) 土地利用面積を入力してください。
なお、面積は小数点以下4桁までの表示とし、計が行為前面積と必ず等しくなるようにしてください。

法面を有する場合は、加重平均により算出した流出係数を入力してください。

法面を有する場合は、加重平均により算出した流出係数を入力してください。

黄色に着色したセルが、雨水浸透阻害行為に該当する面積です。(記入例用に着色したもので、申請時には着色不要)

行為前後の面積の計が必ず等しくなるようにしてください。

※0.1ha (1,000㎡) 以上の場合、許可が必要 (要申請)